

授業科目名	社会科指導法 (2100240)		
時間割名	社会科指導法 (12107)		
時間割担当	山田均		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	月・2		

■授業の目標・概要

この講義では、1 年次開講の“社会の理解”を受けて、小学校社会科教育に関する理論的な基礎知識や技能を習得することをねらいとしている。小学校社会科の教材開発、教材研究と学習指導案作成を核にした「授業づくり」の能力の伸長を目指すものである。

■学習の到達目標

小学校社会科における目標、内容構成、授業実践等に関する基礎知識を習得するとともに、小学校社会科の授業分析と授業設計〔単元指導計画・学習指導案・板書事項・ワークシート・単元小テスト等の作成〕等の実践的指導力を身に付ける。

■授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

■授業計画

- 第1回 オリエンテーション 授業の概要並びに目標・評価・予習・復習等についての説明
- 第2回 社会科の授業設計の理論<その1>
社会科授業設計論の重要性(1) 授業設計の理論
- 第3回 社会科の授業設計の理論<その2>
社会科授業設計論の重要性(2) 授業設計の実際
- 第4回 社会科の授業設計の理論<その3>
学習指導案の立て方・活かし方(1) 社会科学習指導案の立て方
- 第5回 社会科の授業設計の理論<その4>
学習指導案の立て方・活かし方(2) 社会科学習指導案の活かし方とシュミレーション授業
- 第6回 3年社会科授業の観察
学校現場において実践されている3年生・社会科授業のビデオ視聴を通して授業の検証を行う。
- 第7回 3年模擬授業演習
3年学習指導案を検証するために、シュミレーション授業を【45分】を実施し、検討し合う。
- 第8回 4年社会科授業の観察
学校現場において実践されている4年生・社会科授業のビデオ視聴を通して授業の検証を行う。
- 第9回 4年模擬授業演習
作成した学習指導案を検証するために、シュミレーション授業を【45分】を実施し、検討し合う。
- 第10回 5年社会科授業の観察
学校現場において実践されている5年生・社会科授業のビデオ視聴を通して授業の検証を行う。
- 第11回 5年模擬授業演習
5年学習指導案を検証するために、シュミレーション授業を【45分】を実施し、検討し合う。
- 第12回 6年社会科授業の観察
学校現場において実践されている6年生・社会科授業をビデオ視聴を通して授業の検証を行う。
- 第13回 6年模擬授業演習
6年学習指導案を検証するために、シュミレーション授業を【45分】を実施し、検討し合う。
- 第14回 総括的模擬授業演習
現場の教員を招聘し、モデル授業を行ない、授業検証を実施する。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

■成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく(30%)。さらに、学習指導案の作成から模擬授業への過程について評価する(30%)。さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する(40%)。

■準備学習・復習及び授

- 1.毎時学習する内容については、事前に通告するのでテキスト・学習指導要領解説編・社会科教科書を熟読しておき、疑問点は講義の際に質問すること。
- 2.小学校社会科教科書『新編 新しい社会』3～4年・5年・6年と「小学校学習指導要領解説 社会編」は、全て目を通しておくこと。

■履修上のアドバイス及

- 児童が主体的に学ぶ社会科指導を実現するため、指導案を作成するに当たって、
- ①教材の理解を確かなものとするため、「学習指導要領」の目標と内容をよく読むこと
 - ②教科書を熟読し、学習の流れや具体的な学習活動を把握すること
 - ③立案した目標と評価が整合しているか確かめることに留意すること。

■教材・教科書

「小学校学習指導要領解説 社会編」東洋館出版社、小学校社会科教科書『小学社会』3～4年・5年・6年日本文教出版

■参考書

授業中に指示する